

全流協／交通事故防止セミナー

西濃・第一貨物が事例発表

全国物流ネットワーク協会（瀬戸薫会長）は12日、交通事故防止セミナーを開

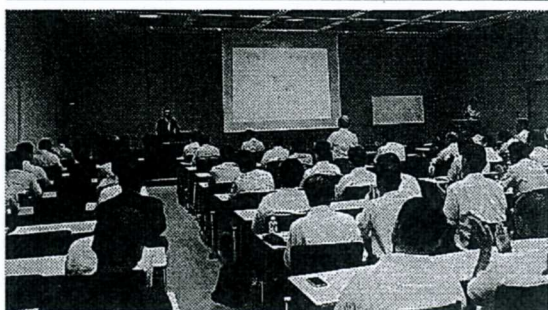
催した。写真。秋の全国交通安全運動に合わせて実施している事業で、今回は西濃運輸と第一貨物の2社が事例発表した。

赤松毅・運行安全副委員長が「他社の取り組みを知ることのできる機会は少ない。ぜひとも有意義なセミナーにしたい」と挨拶。

続いて、森沢三郎交通事故解析士（審調社）が「IT（情報技術）時代の交通事故原因調査について」デジタルタコグラフやドライブレコーダーなどの最新運行管理機器を有効に活用す

るには」をテーマに講演した。

更に、西濃運輸（大塚委利社長、岐阜県大垣市）の中田晃・執行役員輸送品質部長が「交通事故防止の取り組みについて」、第一貨



物の柴田章埼玉整備工場長は「乗務員の教育サイクルおよび入社歴3年未満、事故惹起者の個別指導について」と題して話した。

（沢田 顕嗣）